

雑がみはどのようなもの？
 新聞・雑誌・段ボール・紙パック以外のリサイクルできる紙類のことです。ティッシュや菓子の紙箱、ラップの芯、パンフレット、カレンダーなど、身の回りの紙製のものが対象です。
 ※プラスチック類や金具などは取り除いてください



正しい分別とは
古紙類の分別方法
 段ボール、新聞、雑誌、紙パック、雑がみに分別してください。それぞれが違う紙にリサイクルされるため、分別することが大切です。
古紙類の地区別の収集日
 地区別の収集日に、町内の資源回収場所に出してください。
 古紙類・衣類・廃食用油は、公共施設に設置の資源保管庫でも回収しています。資源保管庫の利用については市HPを確認してください。



分別方法の確認
 分別方法が分かるガイドブックや地区ごとの収集カレンダー、ごみ分別アプリさんあゝるを市HPに掲載しています。
 ●家庭の資源とごみの分別ガイドブック 50音順で品目ごとにごみの出し方を記載
 ※公共施設でも冊子を配布しています
 ●さんあゝる 収集日や分別方法、分別に役立つ情報を配信

プラスチック類の分別方法
 プラマークの表示がある容器・包装は、プラスチック製容器包装として分別・収集し、リサイクルしています。プラマークの表示があることと食品容器などの汚れがなくなきれいな状態であることを確認してから分別しましょう。
 ペットボトル容器は単体で分別・収集しています。ラベルやキャップを外してから出しましょう。
 ※食品容器などの汚れを落とすのが難しい場合はもえるごみで出してください

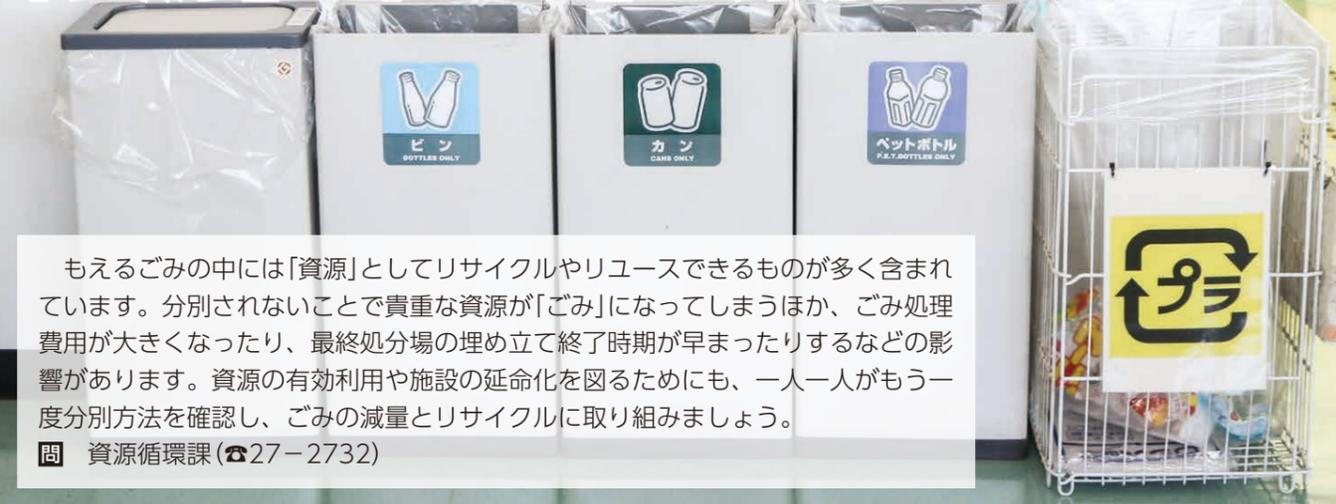


資源の行方

ごみは、もえるごみに出してしまえば焼却処分されてしまいますが、分別すれば貴重な資源となり、さまざまなものにリサイクルすることができます。適正に分別された一部の資源がどのようなものにリサイクルされるのかを紹介します。



もう一度確認！「資源」と「ごみ」の分別



もえるごみの中には「資源」としてリサイクルやリユースできるものが多く含まれています。分別されないことで貴重な資源が「ごみ」になってしまうほか、ごみ処理費用が大きくなったり、最終処分場の埋め立て終了時期が早まったりするなどの影響があります。資源の有効利用や施設の延命化を図るためにも、一人一人がもう一度分別方法を確認し、ごみの減量とリサイクルに取り組みましょう。
 問 資源循環課 (☎27-2732)

令和5年度の本市のごみ処理状況

1人1日当たりのごみ排出量は？
 1人1日当たりのごみ排出量 = **917**グラム
 (令和4年度は933グラム)
 ※1人1日当たりのごみの排出量 = ごみの総排出量 ÷ 総人口 ÷ 年間日数
 ※令和4年度の群馬県の平均は966グラムで、本市のごみ排出量の少なさは県内35市町村の中で17番目

ごみの処理費用は？
 ●収集運搬や焼却処理、資源化、最終処分などにかかった費用 = 年間 **約21億4,000万円**
 ※施設建設費を含めると年間約28億8,000万円
 ●1人当たり = 年間 **約1万円**
 ※施設建設費を含めると年間約1万3,500円
 ※1人当たりの費用 = ごみ処理費用 ÷ 総人口

リサイクル率は？
10.1%
 ※リサイクル率 = リサイクル量 ÷ ごみの総排出量 × 100
 ※令和4年度の群馬県の平均は13.9%で、本市のリサイクル率の高さは県内35市町村の中で28番目

「生ごみ処理器の活用」
 生ごみ処理器を活用し、乾燥させたり肥料として利用したりすることも有効です。生ごみ処理器購入費助成制度もありますので活用してください。

「生ごみ減らすには」
 生ごみの約80%は水分です。捨てる前に水分を絞ると、嫌な臭いや重量が減り、ごみ出しの負担軽減になります。

捨てない工夫(食品ロス削減)
 食材を使い切ることや食品を食べ切ることでごみになるものを減らしましょう。また、食品ロス削減協力店を積極的に利用しましょう。食品ロス削減協力店は市HPを確認してください。

